

平成30年度 病虫害発生予察情報(美濃地域:施設野菜) 11月予報

【 トマト 】 コナジラミ類

施設内で、タバココナジラミが媒介するトマト黄化葉巻病の発生が認められます。今後は気温の低下とともにコナジラミ類の施設への侵入が増加すると考えられるため、防虫ネット等の隙間や破れを補修し、侵入防止対策を徹底するとともに、発病株は伝染源となるため早期に除去し、薬剤による防除を徹底してください。

【 イチゴ 】 ハダニ類

天敵を導入する場合は、古葉を除去し、薬剤を葉裏までしっかり散布し、ハダニ類の密度を低減させてから使用してください。施設内でも発生量にばらつきがみられるため、よく観察し、部分的な発生に注意してください。

○主な病虫害の発生状況及び今後の予測(11月)

作物	病虫害名	11月(予測)	発生状況及び今後の予測	10月(発生量)	防除上の注意事項
イチゴ	うどんこ病	少	今後、気温の低下にともない菌の生育適温(17~20℃)となるため、発生が予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・うどんこ病 発生初期の防除を徹底する。 ・ハダニ類 薬剤は葉裏までしっかり散布し、天敵を導入する前にハダニ類の密度を下げる。
	ハダニ類	並	一部の調査ほ場で発生が認められる。今後、気温は高く、日照時間は平年並~多いと予報され、発生が認められるほ場では注意が必要である。	並	
	ハスモンヨトウ	やや多	調査ほ場での害虫は認められないが、フェロモントラップの誘殺数は平年並~多いことから、増加が予測される。	少	
トマト	灰色かび病	少	調査ほ場で発病は認められない。今後の気象により施設内の湿度が高まるため、発生が予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・曇天が続く場合は、疫病などの発生に注意し、予防防除を行う。 ・コナジラミ類 気温が低下しても、施設内では低密度で生息しているため防除を徹底する。
	コナジラミ類	やや多	調査ほ場で発生が認められる。気温の低下にともない施設内への飛込みが予測される。	並	
キュウリ	褐斑病	少	調査ほ場で発病は認められない。耐病性品種では今後も発生は少ないと予測されるが、罹病性品種では発生に注意する。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・褐斑病 罹病性品種では発病が認められたら発病葉を除去し、防除する。 ・べと病 過湿時には循環扇などを利用し、通風を良くする。 ・アザミウマ類(ミナミキイロ) わずかでも発生が見られれば防除を実施する。
	うどんこ病	やや少	調査ほ場で発病が認められない。今後、気温の低下にともない菌の生育適温(17~20℃)となるため、発生が予測される。	少	
	べと病	やや少	調査ほ場で発病が認められる。今後、降水量は平年並~少ないと予報されるが、引き続き発生すると予測される。	少	
	アザミウマ類	やや少	調査ほ場で発生が認められない。今後、気温は高いと予報され、発生が予測される。	少	

注1) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注2) 調査品種: イチゴ(濃姫・美濃娘)、トマト(CF桃太郎J:葉かび病耐病性)、キュウリ(カレラ:褐斑病耐病性、はやか:褐斑病、べと病、うどんこ病耐病性)

イチゴ ハダニ類

生育適温である25℃、乾燥条件では、約10日で世代を繰り返すため、防除が遅れるとすぐに増殖し、被害が拡大します。

寄生密度が高まると葉はカスリ状となり、葉や果柄などにクモの巣状の網膜を張って群生します。

低密度時には葉裏に生息し、カスリ症状も現れず、発生に気がつきにくいいため、現在発生が見られないほ場でもよく観察し、局所的な発生に注意してください。

ハダニ類の発生が確認されたら、葉裏に葉液がかかるよう丁寧に防除を行ってください。



図 葉に群生するナミハダニ

数値データ

(調査10月:岐阜西濃地域)

作物	病虫害名	発生率	発生率(%)
イチゴ	うどんこ病	(発生株率)	0 (0.0)
	ハダニ類	(寄生株率)	10.7 (12.7)
	ハスモンヨトウ	(寄生株率)	0 (3.3)
トマト	灰色かび病	(発病果率)	0 (0.0)
	コナジラミ類	(誘殺頭数)	6.2 (5.2)
キュウリ	褐斑病	(発病葉率)	0 (1.3)
	うどんこ病	(発病葉率)	0 (4.5)
	べと病	(発病葉率)	0.2 (3.4)
	アザミウマ類	(寄生頭数/葉)	0 (0.11)

注1) イチゴ、トマトは3ほ場、キュウリは2ほ場の調査

注2) ()内数値は平年値、株率、葉率、果率は%

注3) トマトのコナジラミ類は施設内に設置した黄色粘着板での調査データ(10月1半旬~3半旬までの累計誘殺数)

＝施設栽培の病虫害の防除について＝

施設栽培では、作型や栽培環境などにより施設ごとに病虫害の発生状況が異なります。施設内及び周囲の状況をよく観察し、病虫害の発生状況に応じた防除を実施してください。

東海地方1カ月予報(名古屋地方気象台 10月25日)

向こう1カ月の気温は高い、降水量は平年並~少ない、日照時間は平年並~多い予想です。

岐阜県病虫害防除所では、この他に病虫害の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767